



福岡県マスコットキャラクター
「エコトン」

平成25年8月23日

環境部循環型社会推進課

担当: 帆足、原

内線: 3497 直通: (092)643-3381

事業所からの紙おむつ広域回収実証実験を実施します

大都市圏初の紙おむつリサイクル実現が目標

福岡市、筑紫野市及び大野城市内の事業所から紙おむつを分別回収

第1回夏期調査を8月26日～9月2日に実施

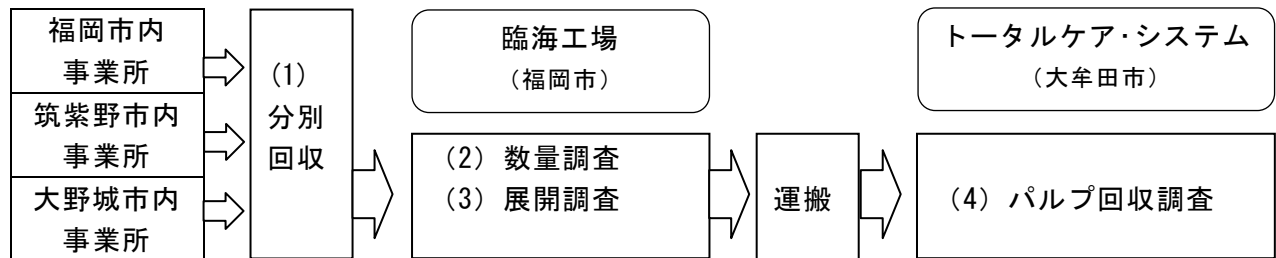
- 高齢者人口の増加により紙おむつの使用量・排出量は増え続け、紙おむつの処理は市町村の大きな負担となっています。県では、福岡都市圏17自治体と連携し、大都市圏初の事業所から排出される紙おむつリサイクルシステムの構築に向け、「福岡都市圏紙おむつリサイクルシステム検討委員会（以下、検討委員会）」を本年7月に立ち上げ、本格的な検討を開始したところです。
- 今年度は、事業所から排出される紙おむつの広域回収実証実験を実施します。福岡市、筑紫野市及び大野城市と協力し、病院や介護施設等の排出事業所から、実際に紙おむつを分別回収します。
- 回収した紙おむつは、袋ごとの数や重さを調べたり、袋を開いて紙おむつ以外の異物の割合を調べたりします。さらに、大牟田エコタウンにある国内唯一の紙おむつリサイクルプラントで水溶化処理し、再生パルプの回収に向けた調査を行います。
- 実証実験は、夏期と秋～冬期の年2回を予定しており、夏期調査は、8月26日～9月2日に実施します。
- 本調査で得られる成果や課題、再生パルプサンプル等は、検討委員会や実験に協力いただいた事業所などに提供し、効率的な回収システム構築の検討に役立てます。

※「福岡都市圏紙おむつリサイクルシステム検討委員会」は、福岡都市圏17自治体、学識経験者、排出事業所関連団体、リサイクル事業者等を構成メンバーとし、概ね3年程度の検討を行うこととしています。

【広域回収実証実験の概要】

- ・実施主体 福岡県リサイクル総合研究事業化センター
- ・期 間 夏期調査(8月26日～9月2日)、秋～冬期調査(11～1月頃)
- ・対 象 福岡市、筑紫野市及び大野城市内の事業所(介護施設、医療施設、保育施設)の一部
- ・調査の流れ(下図参照)

- (1)紙おむつを専用袋で分別回収
- (2)数量調査: 袋の数や重量の調査
- (3)展開調査: 袋毎の紙おむつ種類別の個数・重量と、混入異物の調査
- (4)パルプの回収調査: リサイクル施設で水溶化処理しパルプを回収



【夏期調査の実施内容】

1 分別回収 (筑紫野市及び大野城市内の事業所)

- (1) 収集期間 平成 25 年 8 月 27 日～8 月 31 日
 - (2) 事業所数
介護施設 1 件
成人対象医療施設 5 件
乳幼児対象医療施設 1 件
保育施設 2 件
合計 9 件
 - (3) 回収袋 実験用の紙おむつ専用回収袋(45リットル、赤色)を無償配布。
 - (4) 収集品目 紙おむつ類、その他紙おむつ交換時に混入する可能性のある異物。
 - (5) 収集予定量 2 市 9 施設の合計で、1 日当たり約 300kg。(回収袋約 40 袋分)
 - (6) 調査内容 事業所での分別の手間、収集運搬上の課題を後日ヒアリングして把握する。
- ※福岡市内の事業所については、福岡市が実施(8月26日～)

2 数量調査

- (1) 実施日 8月28日～8月31日(土)
- (2) 調査対象 回収した1日当たり約40袋の全量
- (3) 実施場所 福岡市臨海工場(福岡市東区箱崎ふ頭4丁目13番42号)内
- (4) 調査内容 紙おむつ専用回収袋の数及び重さを事業所別に計測し、1袋あたりの重量を把握する。市内の排出量推計の基礎数値として活用する。

3 展開調査

- (1) 実施日 8月31日(土)
- (2) 調査対象 回収した約40袋の中から20袋を抽出(50%)
- (3) 実施場所 福岡市臨海工場内
- (4) 調査内容 1袋に含まれる紙おむつ種類別の個数・重量と、混入異物の種類毎の重量を計測し、業種別の紙おむつの使用状況や異物混入割合を把握する。

4 パルプ回収調査

- (1) 実施日 9月2日(月)
- (2) 調査対象 筑紫野市、大野城市から回収した紙おむつ専用袋の3日分(4日目の展開調査分を除く)、及び福岡市内から回収した紙おむつ専用袋4日分
- (3) 実施場所 トータルケア・システム㈱ラブフォレスト大牟田(大牟田市健老町466-1)
- (4) 調査方法 回収実験で分別回収した紙おむつのみを紙おむつリサイクル工程に投入して下記事項を調査し、処理工程への支障の有無などを確認する。
- (5) 調査内容
ア 保育所等からの乳幼児用紙おむつ処理の検証
イ 回収袋の材質の検証
ウ 異物混入等による処理効率の検証
エ 再生パルプの回収量の検証

【参考資料】

○紙おむつ類

・パルプと吸水ポリマー(高吸水性樹脂)でつくられている製品。

(例;テープタイプ、パンツタイプ、パッドタイプ、その他フラットタイプ等)



テープ止めタイプ
(紙おむつ)



パンツタイプ
(リハビリパンツ)



パッドタイプ
(尿取りパッド)



その他
(フラットタイプなど)

○紙おむつ交換時に混入する可能性のある異物

(例;使い捨てお尻ふき(ウェットティッシュ)、カット綿、ゴム手袋、ポリ袋、新聞紙等)

○紙おむつ専用回収袋(実験用) 右写真のとおり。

○トータルケア・システム㈱ラブフォレスト大牟田について

- ・業務内容:使用済み紙おむつの水溶化処理、再生パルプ等の販売
- ・処理能力:20トン/日(10万枚/日)
- ・事業所(介護施設、医療施設)から回収された大人用紙おむつ、及び福岡県大木町の一般家庭から回収された紙おむつを処理



【関係者連絡先】

福岡県リサイクル総合研究事業化センター(北九州市若松区)

TEL:(093)695-3069 担当:田中、土田

福岡県環境部循環型社会推進課(福岡市博多区)

TEL:(092)643-3381 担当:帆足、原